

令和2年度自主防災組織アンケート 概要

自主防災組織数	354	
回答数	286	(68組織が回答)

①令和2年度 防災訓練実施状況	組織数	分母
実施組織数	140	286

②防災訓練開催方法(複数回答あり)	組織数	分母
地区住民のみで実施	103	140
地区内の防災指導員を活用	26	140
市へ講師依頼	31	140
その他講師依頼	7	140
その他	19	140

③訓練内容(複数回答あり)	組織数	分母
初期消火訓練	31	140
避難訓練	42	140
救命救急訓練	17	140
炊き出し訓練	19	140
避難所運営訓練	31	140
安否確認訓練	76	140
防災講話	37	140
その他	32	140

④防災倉庫の点検	組織数	分母
実施組織数	244	286

⑤資機材購入補助希望	組織数	分母
希望組織数	144	286

⑥防災マップ	組織数	分母
作成済組織数	91	286

⑦地区防災計画	組織数	分母
作成済組織数	56	286

○令和2年度アンケート結果 自由記載欄(抜粋)

1 コロナ関係

- ・コロナ禍での避難所設営訓練を市指導で訓練を実施してほしい(地区自主防災組織も参加)
- ・令和2年度は新型コロナウイルスの関係で活動ができなかった。このような状況で活動するとすればどのような事業を行えば(計画すれば)よいか指導してほしい。
- ・コロナ禍で人の交流が制限されている状況の下、効果的な防災活動とは何か悩んでいます

⇒対応・検討事項

・市では防災士の派遣事業を行っており、コロナ禍での防災活動や講話についてもご指導をいただいておりますので
防災安全課および、各総合支所地域振興課へご相談の上、ご利用ください。

2 訓練関係

- ・一つの行政区のみで防災訓練から広域的(行政区2以上)対応が少子高齢化が進行する中で必要不可欠となることから計画的な指導を含め支援できる対策対応をお願いしたい
- ・防災避難安否確認訓練の時消防署の方は来ていただくが支所の担当者の方も実施日を報告しているので担当の方
- ・私達の自主防災はほとんどの物がありますが、備蓄食糧を市の方で配布していただければありがたい。
- ・水害を視野に入れた訓練も必要、水の場がらない場所への備蓄や防災グッズを保管できるようにすることが大切
- ・防災訓練をしようと思っても予算が0円では難しい。消火器1本くらい(約8000円)でも補助を頂きたい。
- ・岩出山自主防災会連絡協議会(9行政区)を組織しており、年に一度の講習会や屋外での訓練などを行っています。自主防災会単独で訓練・講習を行う事が難しいとの声を聞きます。そこで協議会が行う事業に参加させてもらう事で単独自主防災会として助かっているともいわれています。そんな観点から協議会として実施のあり方を検討しながら実のあるものにしよう頑張っています。このような事業に行政からのあとおしなどがあれば私どももおおいにプラスになるので考慮していただけたらありがたいです。
- ・田尻全地域の大雨時の行動訓練も必要と思われる
- ・災害時の指定避難所へ指定された各地区合同の避難訓練が必要(収容人数との確認等)
- ・R2.9.12ア足たつた入崎市総合防災訓練が雨天中止となり残念でした。東大崎地区及び田尻地区においても市防災訓練に合わせ実施予定でしたので残念でした。R3年度の大崎市総合防災訓練を改めて東大崎地区で実施できないでしょうか
- ・地域で防災訓練を実行するに当たり十分な計画を必要では！！
- ・本年度は防災訓練は実施しないが別添「防災チェックシート」を2月末の広報誌配布の時、全戸に配布し各家庭でチェック確認点検していただく計画である。
- ・防災訓練等がマンネリズムに陥りがちになるので、良い例があれば紹介してほしい。高齢化が進行しているが、少なくとも消火器を用いた訓練は繰り返し行っていきたい(とっさに取り組めないと推測されるため)
- ・水防訓練を実施してほしい

⇒対応・検討事項

- ・訓練時の備蓄食料配布については、市で保有しているアルファ米等を炊き出し訓練等で活用いただいております。防災安全課までご相談ください。(※数に限りがあります)
- ・訓練用の水消火器の貸し出しを行っております。防災安全課までご相談ください。(※数に限りがあります)
- ・避難所を同じくする自主防災組織が合同で訓練を行う事例もあります。内容や方法についてはご相談ください。
- ・水害時の対応、事前の備え(ハザードマップの学習)等も防災士派遣事業で講師が可能となっております。

3 避難関係

- ・①最近の大雨で深い所で50cmくらいにまで達し、車の一時避難場所の要望が多く有ります(地域全体が広い場所)←福浦3②例 民間のヨークベニマルの駐車場の一部を借りるとか協定書を交わすとか何か方法をアドバイス下さると助かります③マップに大雨時の予想水深記入が有ると助かります 又U字構で蓋が無い箇所も多く大雨で水が濁っていると見えないので入る心配有り(道路との区別)深い所では70cmくらいの場所も有ります←マップに反映
- ・水害の場合の避難所が冠水地域にある それで良いのか？
- ・岩出山地区の場合避難場所がスコレハウスとなっている。「小・中学校・高等学校入口にも避難場所の看板あり」どのような活用と割をすればよいのか。特に小・中・高に近い場所に居住者は、なぜ遠いスコレハウスまで行かなければと疑問に思っている市民が多い。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の禍、避難所の開設のあり方についての統一した方で指導があれば、また備蓄品の期限切れでの新規補充品に対しての補助等検討を願う。
- ・「古川第二小を避難所とする自主防災連合組織」の防災訓練に参加して気付いたことがあります。新型コロナ対策もあり収容人数は3割程度と制限が加わる事や、指定避難所として水害時も一定期間の上階教室が常時使用可能になった事から、仮に運営が伴った場合は余りにも詳細な対策が無く、車では避難途中に増水で二小に向かえない事や、避難困難者の対応や機材倉庫が浸水時に使用不可になる等の問題も多く、指定すれば対策になる認識ではなく、避難所それぞれの災害に応じたきめ細かい対策も必要になる。
- ・緊急時当行政区には雨風をしのぐ場所がありません(避難)農地の高い所にテントを張って避難するつもりです。安全な場所への早めの避難、連絡いただければ幸いです。
- ・令和3年3月統合の富永小学校を地域の一大避難所(古川地域のハザードマップ上の避難所に指定有)として、今後も是非存続指定をお願いしたい。富永地域には一箇所も水害時に避難出来る高台場所が無いため。
- ・当会では避難施設がないので一時避難所に避難することになると思う(五ヶ所)
- ・住民の人命や財産を守る「高台避難場所」と「避難施設」の設置を要望します。
- ・県大崎合同庁舎に避難されてくる石巻市、女川町住民を含めた避難所設営訓練等を計画してほしい。また、関係する自主防災組織代表と会議開催してほしい。

⇒対応・検討事項

- ・高台等への一時避難場所の提供については、市で該当施設との協定締結を検討しております。
- ・防災倉庫が浸水区域内にあることについては、今後学校の校舎内保管など検討してまいります。
- ・原子力災害時の石巻市との避難訓練については今後協議を進めてまいります。

4 ハード面整備

- ・一級河川「大江川」と、小稲葉町との境になっている「古川江」がいつも氾濫している。台風時はもちろん短期間の集中豪雨の時でもある。川底のしゅんせつなど市単独でできる事業ではないと思うので市選出の県会議員らとも連携して対応してほしい。
- ・毎年役員会で江合川(桜ノ目橋上、下)の立木大木化と土砂堆積が河川の氾濫を高めると話になります。このことは市長、議会、行政と情報を共有し、国・県に対策をお願いしてください。後日報告願います。
- ・鳴瀬川への排水弁を閉めたため国道四号が冠水するため 通行止めとなる 市道の一部が冠水し通れなくなる 一住宅が床上冠水となる 排水機場の設置を要求したい
- ・渋川の多量の雨の時の減災対策として迂回排水路又は強制排水ポンプの導入による件と渋川の強じん化について地区長との相談を考えていましたが、1月区会総会やその他の会合がコロナの影響でなかなかもてないので出来れば会合(議員さんと相談)を持ちたいと思います。
- ・田尻川大水門橋下流部河道掘削し排水の改善を図る工事が始まっていますが、その下流部も越水の危険が高まっています。台風19号の時は堤防からの越水が見られました。根本的な対策を検討いただきたい。

⇒対応・検討事項

- ・建設部門へ情報共有を行い、対応を検討してまいります。

5 研修関係

- ・防災指導員養成・フォロー研修、ハザードマップ説明会は有効なのでコロナ禍ではありますが感染対策の上で継続したい。防災士会みやぎの派遣を初めてお願いして地区防災マップを作成できた。地域の事情に合わせた防災訓練のやり方を考え、実施していきたい。(アパートが多い、独居老人が増加、空家が散在など…)
- ・9月2日、10月12日の防災市民講座の自分の命は自分で守る とても良かったと思います。自分がそういう場面になったら、想像し行動にうつれるか考えさせられた。想像し備える大事ですね。
- ・令和2年7月22日鳴子公民館で開催された大崎市長主催の鳴子温泉地域を対象とした「防災に関する研修会」令和2年4月配布の大崎市ハザードマップの活用について、コロナ禍の避難についての研修でしたが、大変良い企画と存じます。今後もリーダー講習・研修会開催を望みます。
- ・防災に関しての講習は広く皆さんに防災意識を高める上で有効と思います。過日パレット大崎での講習会、たいへん参考になりました。地域に於いてもテーマを変えながら継続して講習会の場を設けたいと思っています。
- ・地域ごとに特性が異なるため、地域ごとにあった研修をしてほしい
- ・R3年はせめて防災に関する事業を行いたい…と思っていますがどのような内容にすれば良いのか？と迷っています
- ・各地区の自主防災組織間の情報交換・意見交換の場を設けてほしいまた、防災に関する研修の場があっても良いの
- ・各地域(人阿国や登木園)での防災講習会に参加し参考にする事項が入。人阿町でも実施しているか、参加者を元と役員ばかりでなく関心のある一般の地区民の参加も見られることからこのさい講習会の開催を計画実施してほしい
- ・避難所運営ゲーム(HUG)等、市で購入していただき貸し出しされたい。
- ・市による行政区向けの講習会をして頂きたい。内容～防災組織役員に対しての指導員養成に準ずる講習

⇒対応・検討事項

- ・令和2年度についても、ハザードマップ等の研修を開催してまいりましたが、引き続き内容を検討し実施してまいります。

6 防災無線関係

- ・稲葉南区内の防災無線が聞き取れない。テレビ、ラジオ、ケイタイでの情報により避難指示役員招集発令の判断基準にしている
- ・広報(地域内にある防災スピーカー)での周知が聞き取れず対応が困難な住居もあるので、地域内同一避難などの行動がとりにくい。毎戸に配ると少しは改善すると思われる。
- ・要望として現在各区長には貸与されると聞く「防災無線の受信機」に付いてである。私自身、防災部長として有事の際はいち早く行動をしなければならぬが、市で流す拡声器による放送では聞き取り難くあまり役に立たない。以前支所の担当に「どうか自費でも良いので購入できないか？」と尋ねた事があるが「購入不可」との返答であった。この点少し憂慮頂き希望者には入手できる様に配慮して頂きたいと思う。
- ・防災無線が聞こえない(役に立たないので)個別受信機の配布をお願いしたい(高齢者世帯・一人暮らしの人から)
- ・防災放送が少し聞きづらいところがあるという意見がありますので何かいい方法があればよいと思います。
- ・年次計画により、家庭用防災無線機が設置されることを要望いたします。
- ・防災無線は雨風の際には聞こえない。個別受信機かメール配信が効果的と思う。
- ・防災無線の音量が家の中に入ると全然聞き取れない
- ・防災無線が聞き取れないので(受信機全戸配布の要望が多い)
- ・防災無線が聞き取りにくい場所があるので個別受信機などの対策が必要と思われる
- ・自主防災組織の代表者に、防災に関する様々な情報をメール配信してはどうでしょうか？

⇒対応・検討事項

・防災無線が聞き取りづらいとのご意見を受け、市でも難聴世帯への戸別受信機設置や防災無線の内容をメール配信、電話確認できるサービスを提供してまいりましたが、今後も新たな情報発信手段を含め検討してまいります。

7 防災マップ関係

- ・地区のハザードマップを作成したいので、「住宅地図」なみのパソコンで加工できるデータがほしい
- ・上記「防災マップに関する件」で防災計画の事例で参考に来るものがあれば教示願いたい。
- ・平成7年度に作成した「前田町防災マップ」の見直しをし、新しい防災マップを作成する予定でいます。防災組織は、
- ・防災マップは前回作成から数年過ぎ現在のバージョンアップ作成予定だが…集会ができず 防災計画作成も未定だがコロナ感染防止で集会ができない
- ・防災マップ作成用の地図が欲しい(既存の防災マップの改訂版を作成する為)
- ・防災マップを作成において市での助成金があれば？
- ・昨年は当初からコロナ禍により防災訓練はもとより町内会行事もできずにおり、人が集まること自体不可能です。当町内の防災マップ作成が平成25年で7年経過しており更新したいので何らかの助成がいただければと思います。

⇒対応・検討事項

・地区防災マップに使用するト図(地図)については都市計画課にて提供できる場合もありますので、ご相談ください。
・防災マップ作りについても防災士で作成について指導をいただけます

8 組織の内情等

- ・人口減少と住民の高齢化により人材不足のためさらに充実した防災活動を実施は厳しい状況である。したがって身の丈に合った活動継続を進めたいと思いますので市からさらなる物資両面の支援をお願いします。
- ・東日本大震災後は組織的に活発な活動であったが、現在は以前の活発さは不足している。地域の高齢化、担い手不足等で活動低迷、又防災に関する教育等が不足している事で担当者が育たない。知識を得た担当者の育成と防災活動に関する助成が必要です。又各地域担当者同士の情報交換会等による人材育成を検討願います。因みに防災活動予算は当会は6万円並び鳴子地域づくり委員会より5000円の助成(令和2年度)は有ります。
- ・行政区内に消防署員のOB、現役の方が在任していますので大いにアドバイスをいただいております。いざ災害の時はそれぞれ係の方はおりますが住民全員が係員であると自確し訓練に参加するようお願いしてる
- ・一行政区単位では、人材が他の団体と役職が重なり不足です。防災組織の役員は5～10年スパンで活動しないと役に立たないので防災組織を旧小学校単位を目安に検討してほしい。
- ・当行政区は、65才以上が45%、70才以上が27%と、全人口に占める割合が多いのでマンパワーが弱ってきている中で当事業についても例外でなく、活動が困難になってます。そして更に「自分の家庭(特に農業経営)の事で手いっぱい」の家庭が少なくない事情が厳しくしてます。アイデアを貸してください。
- ・少子高齢化の現状にあって、住宅地での限界集落化が顕著になっている状況下に対応した防災指針を示すべきである。特に高齢化一人あるいは二人世帯の比重が高く、地域の防災行事に参加してもらうことすら叶わない現況が、地域に自立した自治を一律に求めるという行政の姿勢は考慮すべき時代になっているのではないかと思う。
- ・町内会活動には限界がある・町内会の年齢層に巾があり訓練には苦労している
- ・自主防災を立ち上げてからメンバーの移動もない状況で地区内に於いては高齢化が進んで運営も難しくなりました。組織再編も考えていかなければならないのではと思います。
- ・自主防のあり方、組織、運営することに悩んでいます。区長であり、自主防の代表であり、地区振の会長でもあり、地区対策本部の本部長です。これでは何するにしても足かせとなりうまく廻らない。単なる地区の問題でしょうか？担い手不足とか、後継ぎ不足、少子高齢化とかみなからんではと思います。(区長のひとりごとです)
- ・現状初午会防災部は親交会の組織ですが、人口減少又、日中人口が減少している中で有事の際の対応が出来るか不安です。池月全体としての組織もありますのでそこに予算をつけていただき活動できる様に要望します。
- ・充電式的大型懐中電灯(投光型)を平成18年に備付したが、経年劣化により、バッテリーが使えなくなり、夜間の停電時の災害発生時に不安を感じている。高額なものであるため、是非、補助事業として考慮してほしい。

⇒対応・検討事項

・構成員や地域の高齢化問題については、市としても対策を検討してまいります。
・自主防災組織への運営補助金についても検討してまいります。
・複数の自主防災組織が連合組織として活動している場合については、結成補助金10万円もありますので、ご相談ください。(要申請)